

F Mくしろ「市役所からこんにちは」資料（令和6年2月放送分）
放送日 令和6年2月26日（月曜日）午前10時5分～10時20分

（話題1）令和6年度の予算案について

【エフエムくしろ パーソナリティー】

今日は、蝦名市長にお越しいただいてお話しいただきます。それでは、市長、今日はどのようなお話でしょうか？

【市長】

釧路市の令和6年度の予算案について、主な内容をいくつかご紹介いたします。来年度の予算編成にあたりましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行による社会経済活動の正常化、世界的な物価高騰の継続や気象状況の変化など、さまざまな動きがある中で、国が推進しているデジタル・トランスフォーメーション（DX）・防災などに関連する経費や、人件費の上昇などに対応をしながら、【デジタル化】【環境】【経済成長】【生活環境】をキーワードに、社会変化への対応や市民の皆さんの満足度向上・不安解消につながる取り組みに重点を置きました。また、雇用が生まれる地域の経済環境や、市税などの歳入を増やす事業に「投資」することを意識し、予算編成を行ったところです。

まず「デジタル化」では、デジタルの力を活用し、地域課題を解決する人材の育成を進めるほか、様々な分野でデジタル・トランスフォーメーション（DX）やデジタル化を図ってまいります。一昨年度から実施しているスマホ教室を継続するとともに、新しい取り組みとして、「釧路市情報発信プロジェクト事業」を実施します。この事業は、市内の企業や市役所職員を対象に、SNSを利用した情報発信の実践講座を開催するもので、市役所と企業がともにSNSを一から学び直し、釧路の魅力をまちをあげて発信していくことで、釧路の認知度をますます高めることを目的としています。企業にとりましては、SNSを活用したマーケティング力の強化につながるものですので、ぜひたくさんの方の企業に参加いただきたいと思っています。

「環境」については、2050年にCO2実質排出ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言や阿寒摩周、釧路湿原国立公園のゼロカーボンパーク登録をはじめとした、カーボンニュートラル社会の実現につながる取り組みを進めるとともに、ごみの減量、リサイクルによる循環型社会の形成、民間企業と連携し、豊かな自然環境を生かした地域づくりを進めてまいります。昨年（2023年）7月に提携した株式会社モンベルとの連携協定に基づき、音別町憩いの森キャンプ場・湿原展望台周遊木道の再整備に向けた検討を進め、釧路の自然を生かした体験の場の魅力アップにつなげていきたいと考えています。また、カーボンニュートラル社会を実現するための取り組みとして、一本のペットボトルから、ほぼ一本のペットボトルを再生するボトル to ボトルの取り組みを引き続き実施します。

続いて、経済成長、地域経済の持続的な成長を目標に付加価値化に向けて、まちの活力を高めるため、阿寒・音別両地域を含めた地域経済の活性化、地域経済を担う人材育成に積極的に取り組む地元企業への支援、起業や事業承継につなげる取り組みなどを進めてまいります。その一つといたしまして、釧路市の友好都市である徳島県松茂町が、東京で結婚式場やレストラン等を多角的に運営している株式会社八芳園と連携協定を結んでいるつながりから、八芳園のプロデュースにより釧路の水産品や農畜産物でメニュー開発を行い、釧路の製品の付加価値向上と販路拡大を図っていききたいと考えています。

次に、「子育て」については、産後1年未満の母子への心身のケアや育児サポートにかかる利用料の減免など、地域の未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう、子育てを地域社会全体で支えられる取組を進めてまいります。

教育面では、子どもたちの生きる力を育む学校教育の推進と教育環境の充実を目指し、学力向上、教職員の負担軽減につながる取り組みとして課題となっている中学校の学力対策を実施するとともに、大楽毛・音別地区の義務教育学校整備にかかる取り組みを進めてまいります。また、不登校対策として、不登校の児童生徒を対象とした宿泊体験学習を実施するほか、「学びの多様化学校」の設置に向け北海道教育委員会等との協議を進めます。

続いて、「災害対策」では、避難困難地域の解消に向けて、大楽毛津波避難複合施設の建設

工事、大楽毛及び音別地区の津波避難タワーの整備に着手いたします。

また、「都市基盤等の整備と充実」としまして、1957（昭和32）年に計画されて以来、地域として要望を続けてきた北海道横断自動車道の阿寒インターチェンジから釧路西インターチェンジ間及び釧路空港インターチェンジ等の全線開通に伴い、開通記念イベントやプロモーションを行います。

続いて、暑さ対策として、コミュニティセンターや阿寒町公民館等の図書室等に猛暑時に避難できる「クールシェルター機能」を整備するとともに、保育園、児童館等の子ども関連の公共施設に冷房設備を整備します。

以上、令和6年度予算の一部につきましてご紹介いたしました。より詳しく予算のポイントをまとめた資料は、市のホームページに掲載しておりますので、是非ともご覧ください。

（話題2）第18回全日本少年アイスホッケー大会（中学生・男子の部）について

【エフエムくしろ パーソナリティー】

続きまして、皆さんにお知らせしたいことはございますか？

【市長】

アイスホッケーの話題についてお伝えいたします。来月、3月23日（土曜日）から、釧路市にて、「第18回全日本少年アイスホッケー大会（中学生・男子の部）」が開催されます。

今年は、地元釧路の2チームを含め、各都道府県から23チーム、総勢約500名の参加を予定しており、釧路を訪れる選手や関係者の皆様を、あたたかく迎えたいと思います。

開催期間は3月23日（土曜日）から26日（火曜日）の4日間の日程で、釧路アイスアリーナ、春採アイスアリーナ、KKS（ケーケーエス）釧路厚生社アイスアリーナの3会場で、熱戦が繰り広げられます。

観戦は無料ですので、ぜひ、皆さん会場で応援していただきたいと思います。